



慰霊のことばを述べる小野市長

犠牲者を悼み、災害のない明日を祈る

10月3日 狩野川台風慰霊式典を開催

千歳橋付近(南條)の狩野川台風慰霊碑前で狩野川台風慰霊式典が開催されました。

今年度の慰霊式典は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小しての開催となりました。

式典後には、狩野川台風で犠牲になった人たちを慰霊するため、花火が打ち上げられました。

ゆかりの地を巡り、歴史を再発見

10月18日 「北条氏と頼朝を巡る旅」を開催

2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の主人公・北条義時は、伊豆の国市江間出身。そこで、北条義時や彼の父・時政、姉・政子、政子の夫・源頼朝にゆかりのある史跡などを歴史ガイドと巡るツアーを「ひとつなぎ伊豆の国。」が開催しました。

当日は、14人が参加。義時ゆかりの北條寺住職から話を聞いたり、願成就院などを見学しながら、約6.6kmを歩き地域の歴史、魅力を再発見する1日となりました。



北條寺住職の話に耳を傾ける参加者

防災意識を高め、地域の力に

10月20日 大仁中学校2年生が防災学習を実施

大仁中学校で、自衛隊三島募集案内所の所員を講師に招き、防災学習が行われました。この防災学習で、災害発生時に、中学生が地域の力となるための知識や技能を身につけるため、災害時における自衛隊による災害派遣活動の内容や、災害時に役立つロープワーク(ねじ結び・もやい結び・命綱結び)を学びました。

生徒たちは、3種類の結び方の説明を熱心に聞き、実践することで防災意識を高める1日となりました。



ねじ結びに挑戦する生徒たち



友だちと一緒に下絵を作成

富士山を描いて、貼り絵を作成

10月25日 「親子で貼り絵コンテスト」を開催

伊豆の国子ども会連合会主催の「親子で貼り絵コンテスト」が伊豆の国パノラマパークで開催されました。今回のコンテストのテーマは、「葛城山から見た風景と伊豆の国自慢」。子どもたちは、葛城山山頂からの風景を一生懸命スケッチブックに描いていました。

この日描いた下絵を元に、自宅で貼り絵の作成を行い、完成した作品の中から選ばれたものを、「令和3年度伊豆の国市民カレンダー」へ掲載する予定です。

優れた技術でまちづくりに貢献

9月18日 伊豆の国市優良建設工事表彰式を開催

令和2年度伊豆の国市優良建設工事表彰式で、市が発注した500万円以上の工事で令和元年度に完成した63件の中から、優秀な成績を収めた工事の受注者と優れた技術者が表彰されました。

優良工事部門では、山本建設(株)伊豆の国営業所、(有)サクライ、(株)木村組、(株)正治組、中林建設(株)伊豆の国出張所の5社が受賞し、優良技術者部門では、6人の技術者が受賞しました。



受賞した受注者と技術者の皆さん



受賞した花の会の皆さん

「花と緑」あふれるまちを目指して

9月24日 令和2年度環境大臣表彰などの伝達式

市長応接室で令和2年度環境大臣表彰(地域環境美化功績者表彰)並びに静岡県花の会連合会花と緑の功労者表彰伝達式を開催しました。

環境大臣表彰(地域環境美化功績者表彰)を伊豆の国市花の会が受賞し、静岡県花の会連合会花と緑の功労者表彰を、原絃代さん(伊豆の国市花の会(大仁支部))、小川昌年さん(多田レディース花の会)、渡辺政子さん(大門フラワーロード)の3人が受賞しました。



ポンプ車の連結を完了し放水

定期訓練で連絡・連携強化を図る

9月27日 消防団が中継訓練を実施

伊豆の国市消防団が、千歳橋近くの狩野川河川敷で複数のポンプ車を連結して水を放水する「中継訓練」を実施しました。火災時には水利が現場から離れている状況も考えられることから、連絡・連携を強化するため、同訓練を定期的に行っています。

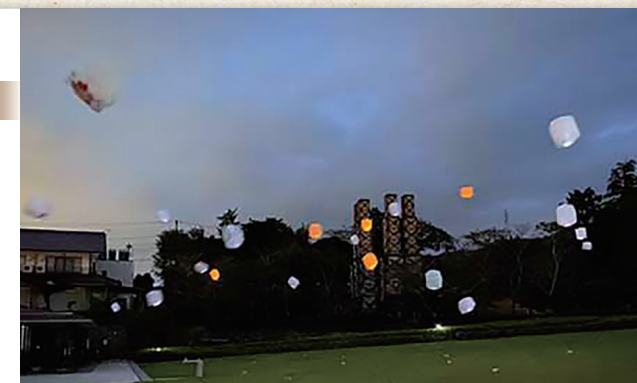
団員は、駿東伊豆消防本部協力のもと、ポンプ車の操作方法の確認などを実施。実際の火災時に、速やかに消火活動が行えるよう訓練を行いました。

25の願いを夜空に託して

10月2日 新型コロナの収束を願い、夜空にランタンを掲げる

葦山反射炉・道の駅伊豆のへそ・南山荘前の3カ所で新型コロナウイルス感染症収束を願い、ランタンを掲げました。

これは、観光まちづくり事業を行う団体「ひとつなぎ伊豆の国。」が主催して行ったもので、市内の小・中学校、高校の児童・生徒や市民にメッセージを書いてもらった25個のランタンが皆さんの願いとともに夜空を彩りました。



葦山反射炉前に浮かぶランタン